

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	グループホーム内の理念が長く全職員がすべてを暗記できない為、簡略化する。	家庭的な雰囲気・尊厳を守り自己決定を尊重・地域のコミュニティの中でその人らしい生活。 上記の3つの言葉を残しつつ簡略化する。	本社・全職員とヒアリングしながら作成する。	6ヶ月
2	4	推進会議を2ヶ月に1回以上開催し、外部の人たちをもっと参加していただけるようにする。	推進会議を2ヶ月に1回以上できるようにする。 地域の方・包括支援センターの方たちにも協力をお願いする。	地域ケア会議に出席したさいに、包括支援センター・その他の外部の方々にお声をかけ参加していただけるようお願いをする。	8ヶ月
3	6	全職員が身体拘束禁止の具体的な行為を正確に理解できていない。	全職員が拘束に関するすべての項目を理解・暗記できるようにする。	3ヶ月に1回拘束研修を行う。 定期的に個人指導も取り入れ、個々の能力・学習範囲を把握し必要であれば指導する。	3ヶ月
4	33	重度化・緊急時・看取り時に施設長以外の職員も対応できるようにする。	全職員が重度化・緊急時・看取り時の対応ができるようにする。	年間研修リストに重度化・緊急時・看取り時の研修を取り入れる。	6ヶ月
5	35	防災頭巾・防災ヘルメットの用意。	防災頭巾・防災ヘルメットを常備する。	防災頭巾はご家族様に購入していただき用意。 防災ヘルメットは施設側で用意する。各階1個	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。